

## 第3号議案 令和6年度 事業計画(案)について

令和6年度は、中期事業計画の1年目として5年後の目標設定に向けた取り組みを中心に担い手や集落の支援を実施します。

また、支援のために必要となる人員配置や機械整備を計画的に行うことで、低価格での受託事業や水稻苗等の生産を実施し、離農者や耕作放棄地の抑制、農業者の収入増加に向けた取り組みを支援します。

### 1. 農作業受託事業

農作業受託は、農家の減少に伴い年々減少傾向にありますが、受託金額を抑えることや丁寧な作業で固定依頼者を確保するとともに、水稻では苗から刈取までの一貫した農作業の受託に努めます。

また、市の推奨する「玉ねぎ」「かんしょ」のマルチ張りや収穫等の作業を積極的に受託し、産地化に向けた取り組みを支援していきます。

へり防除受託では、昨年度新規加入となった国東町の圃場を本年度も引き続き実施することで、事業面積の確保を図っていきます。

その他、受託用機械の更新のために必要な経費について計画的な積立を実施するとともにリース契約が有効なものについては、リースでの利用も検討します。

令和6年度は、2tトラックの買い替えを予定しています。

\* 令和6年度 計 画

(千円)

項 目	収入額	支出額	差 引	備 考
1 一般受託	11,000	6,200	4,800	180 h a
2 へり防除	21,000	15,300	5,700	530 h a
合 計	32,000	21,500	10,500	

## 2.中核的担い手及び新規就農者の育成事業

### 1)こねぎトレーニングファーム研修施設の運営

こねぎトレーニングファームは、就農ハウス建設費の増加により、本年度より研修生の受け入れを中止していることから、主に「玉ねぎ」「かんしょ」の苗の生産施設として活用し、残ったハウスを利用して生産規模を縮小し「こねぎ」の生産を行います。

また、研修施設は、再開できるように維持していきませんが、研修生がいない状況では、苗の栽培と合わせても面積が広いため、ハウスの一部については近隣の卒業生に貸し出したいと考えています。

### 2)ハウスリース事業

こねぎ就農用ハウスは、これまで7期生までの25施設を建設しており、平成26年建設の1期生のハウスは、昨年度耕作者である卒業生に譲渡しており、本年度は2期生に譲渡する予定です。

ハウスリース事業は、就農者である卒業生から年間のハウスリース料及び農地賃借料を徴収し銀行への返済、地権者への賃借料として支払いをしているものです。

また、5期生（令和元年建設）、6期生（令和2年建設）については、銀行借り入れの利息が他の卒業生と比較して高かったことから、その一部について公社が補助を行っています。

\*令和6年度 計 画

(千円)

項 目	収入額	支出額	差 引	備 考
1 ハウス事業	39,284	38,589	695	
2 利子補助	0	319	△ 319	
3 農地賃借料	1,169	1,169	0	
合 計	40,453	40,077	376	

### 3.特産品の生産・販売に関する事業

これまで「味一ねぎ」「主食用米」「もち米」「かんしょ」「極早生玉ねぎ」の生産に取り組んできましたが、「味一ねぎ」においては、トレーニングファームの休止をうけ生産量を大幅に減少し、その圃場を活用して「玉ねぎ」「かんしょ」の苗の栽培を行うこととします。

また、水稻苗を初めとする苗の生産に力を入れることから、「極早生玉ねぎ」の生産については中止とします。

今後は、市の特産品の面積拡大のために苗の生産を中心に事業を実施します。

#### \* 農産物生産計画

(千円)

項目	収入額	支出額	差引	備考
1 こねぎ	12,719	11,730	989	40 a
2 主食用米	1,260	1,124	136	1.5 h a
3 かんしょ	250	627	△ 377	25 a
計	14,229	13,481	748	

#### \* 苗生産計画

(千円)

項目	収入額	支出額	差引	備考
1 水稻苗	6,665	2,191	4,474	11,000 枚
2 玉ねぎ苗	1,820	1,278	542	1,300 枚
3 かんしょ苗	880	556	324	40,000 本
計	9,365	4,025	5,340	